



## 2020.02.26 News 総社アートハウス訪問

地域おこし人サミット・コアメンバーの1人、総社アートハウス池上眞平氏の地元、岡山県総社市を訪問した。岡山県は古来の備前焼、近代美術館の魁、大原美術館に連なり、アート施設や企画がひしめくアート王国。以下のメンバーがさらりとアートハウスに参集。



(右から順に)

- 松本剛太郎氏 (建築+アート)
- 大槻順一郎氏 (アクシス社代表)
- 丁田崇光氏 (文化振興課文化事業班主幹)
- 有田裕氏 (県環境文化部文化振興課課長)
- 伊永和弘氏 (現代アート、県実践講座講師)
- 林正実氏 (阿曾の鋳物師、鬼ノ城塾塾長)

総社アートハウスは旧総社町初代町長の旧宅で、池上眞平氏の実家。氏が地域アート活動の拠点にと、地元で活躍される伊永、松本両氏に託し、さまざまな企画が行われている。



### 総社アートハウス



特定地域の神社の祭神を集めて祀った総社。律令制由来の呼び方という。

古代には出雲と並び大和政権が一目おいた有力地域の吉備、桃太郎伝説などでも有名。

2001年の開講以来114回を数える林正実塾長の「鬼ノ城塾」。会田誠・山口晃・名和晃平・ヤノベケンジ・小谷元彦・東芋など現代アート、隈研吾・西沢立衛・石上純也など建築家その他、錚々たるアート関係者が辺鄙な場所まで講師として来訪する。どんな吸引力が潜むのか。林氏にお尋ねすると、皆さん一杯飲むのが楽しみで、、、と判然としない。

王国には、吉備国伝来の魔力が秘められている。



(アートハウス 一隅)